「福祉の種まきと芽吹き」

龍ケ崎市社会福祉協議会

龍ケ崎市について

人口　75,183人

（令和6年10月1日現在）

小学校	１１校（２校統廃合）
中学校	５校（１校統廃合）
高等学校	４校
大学	１校

福祉の種まきとして…

福祉出前講座

共に生きる力を育み、
福祉に関心を寄せるきっかけづくりとして

- 車いす体験
- 点字体験
- アイマスク体験
- 手話体験
- 障がい者疑似体験など

青少年ボランティア

ボランティア体験を通して、
活動の楽しさや福祉に対する理解を深めるため

①ジュニアボランティア（小学３年生～中学生）

②高校生ボランティア

内容…夏休みのボランティアスクール、ふれ愛交流事業
街頭募金、地域の交流支援など

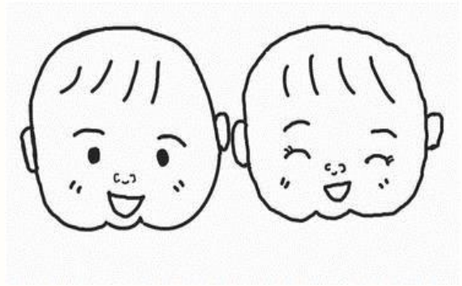
初めてのボランティアだったので緊張したのですが
達成感がありました。

幅の広い年齢の方たちとふれあえて
たくさんのことを学べました。

人との交流の楽しさを
より一層感じられた時間でした

大変な場面もあったけど子どもたちの笑顔を
見ることができ、すごく楽しかったです

子育てカフェほっぺ



吉澤美緒

Mio Yoshizawa

発表日：2024年10月22日

プロフィール

吉澤　美緒

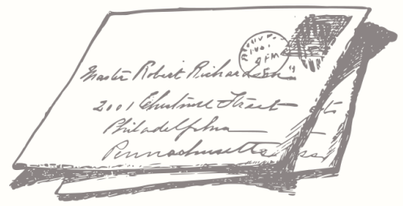
1996年4月30日生まれ / 28歳

小学校4年生から

社協のジュニアボランティアスクールに参加

令和６年５月５日子育てカフェほっぺオープン

MIO Yoshizawa



[本日の流れ]

1.ジュニアボランティアに参加したきっかけ

2. ジュニアボランティアで身についたこと

3. ジュニアボランティアの経験からカフェへ

ジュニアボランティアスクール参加のきっかけ

1

手話を学びたい

2

車イスに
乗ってみたい

3

点字が
読めるように
なりたい

楽しい！

優しい！　また来たい！

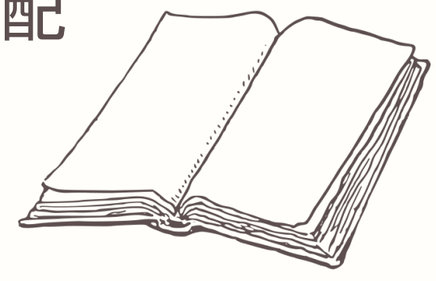
1．様々なことを学ぶことができる

2．活動を喜んでもらえる

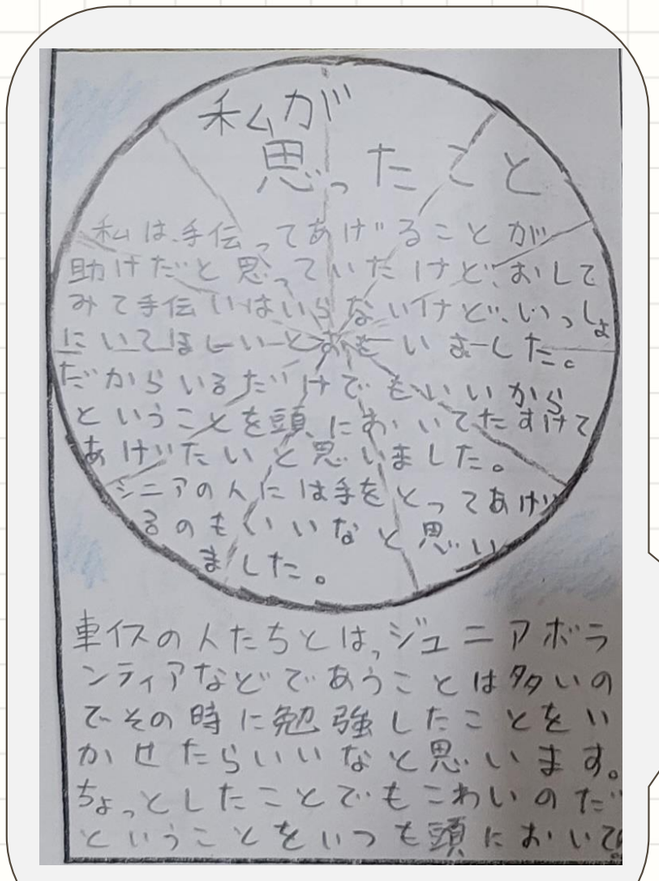
3．達成感がある

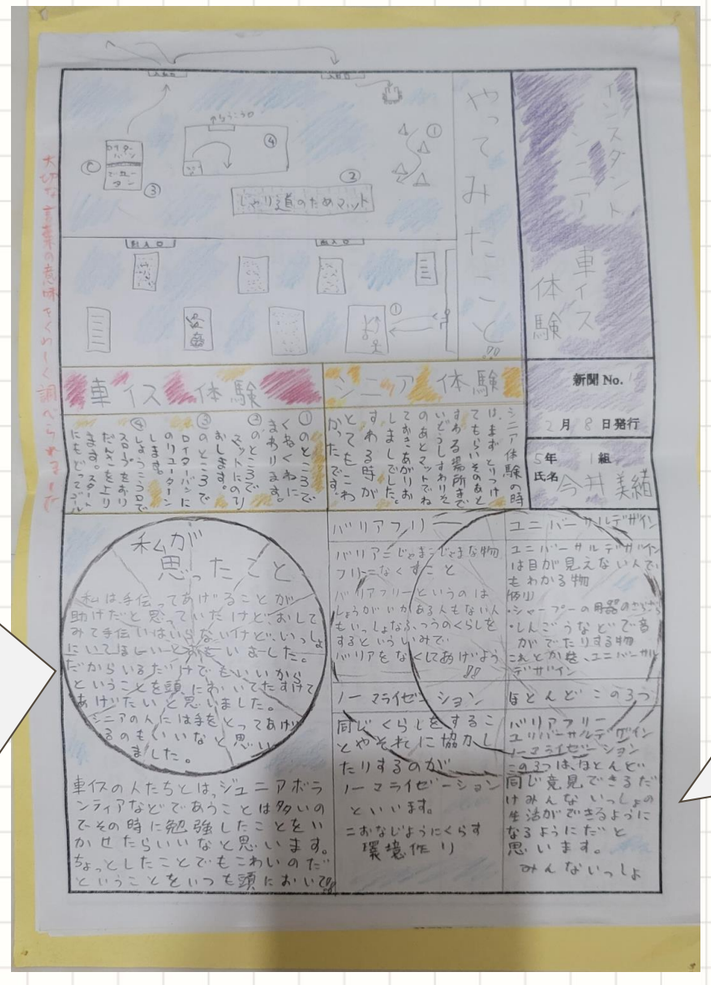
ジュニアボランティアスクールで経験したこと

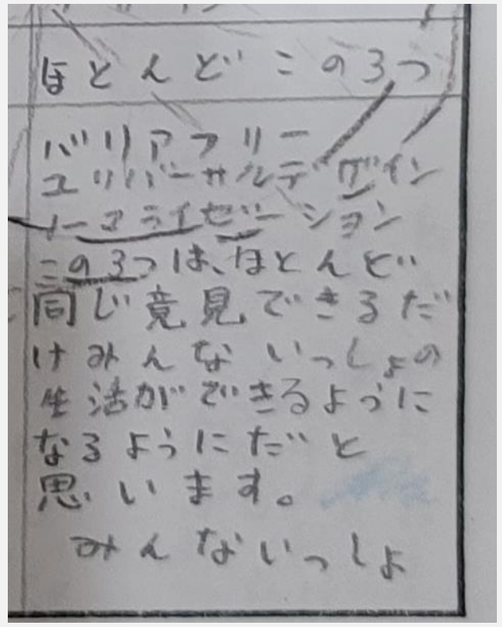
- 手話を学ぶ
- 点字を学ぶ
- 車イスを学ぶ
- ふれあい広場
- ふれあいクリスマス
- 慰問
- テープカット
- 様々な発表
- 餅つき
- お弁当宅配



小学校５年生の時の新聞







ジュニアボランティアで身についたこと

- 様々経験と成功体験から行動力が身についた
- 平等に生きることについて強く意識できるようになった
- ボランティアは生活を豊かにし、さらに彩りを与えてくれる事を知った

オープン前の構想

だれでも・いつでも
行けるカフェ
Everyone
Everyday cafe

子どもとの生活で変化

職場(家の外)に自分の机やスペースがあり
居ることが当たり前で、
受け入れてもらえる場所がある

出かけなかった日は
何もしていない気分になるが、
家にいた分、昼食に使用した食器などの
家事が発生する

子どもが起きていたら目が離せなく
寝かしつけてもいつ起きるか分からない

仕事をしている | 育児休暇中 | 外出しない | 外出する | 疲れても休めない

居場所が家だけになる。外に出かけたくても
子どもと行ける場所に限りがあり、
「また来た」と思われるのではないか？
と考える

外出すると気分転換ができる
しかし、家事は進まず、
出かけた分家事がたまる
食事の時間になると外食にお金がかかり
長時間だと体力も消耗する

カフェのめざすところ

1 毎日行くのが当たり前(毎日行って良いの一歩先へ)

2 家事負担を増やさない(ごはん作りなど)

3 温かい空間(快適な温度湿度)

4 行く事が罪悪感がないカフェ(高すぎない)

5 行くと元気が出て活力になるカフェ(楽しい・美味しい)

ジュニアボランティアの経験からカフェへ

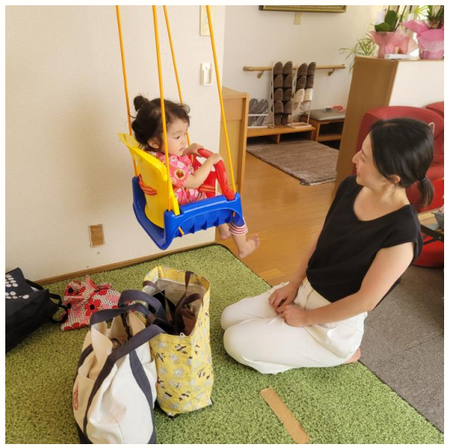
- ジュニアボランティアの行動力で物件探しに踏み切れた
- 子育て中も平等に生き生き生活できるようにしたい
- 売上がなくても、ボランティアとしてカフェを行い生活を豊かにし、さらに彩りある生活がしたいと思った

[今後の展望・目標]

みんな一緒に

楽しく生活できる

居場所となるカフェにする



THANKYOU

ありがとうございました!